

令和2年7月豪雨の対応について

【 項 目 】

1 令和2年7月6日から7月8日にかけての大雨の概要（総務部）

（1）大雨の状況	1
（2）災害対応体制等（6月25日から7月30日）	2～4
（3）避難者数	5～6
（4）避難所における感染症対策について	7

2 被害状況

（総務部、農林水産部、建設部、環境部、地域振興部）

（1）人的被害及び住家の被害状況	（総務部）	8
（2）農林関係災害	（農林水産部）	9～10
（3）有明海漂着ゴミ	（農林水産部）	11
（4）漁港内土砂堆積	（農林水産部）	12
（5）早津江川河道土砂堆積状況	（農林水産部）	13
（6）公共土木施設災害	（建設部）	14
（7）土砂災害	（建設部）	15
（8）環境関連施設被害状況	（環境部）	16
（9）富士山村広場	（地域振興部）	17
（10）嘉瀬川河川敷北グラウンド	（地域振興部）	18

3 その他

（環境部）

（1）災害ごみ（漂着・漂流）の受け入れ	19
（2）清掃工場における県内被災地の災害ごみの受け入れ等について	19
（3）環境省からの派遣要請について	19

1 令和2年7月6日から7月8日にかけての大雨の概要

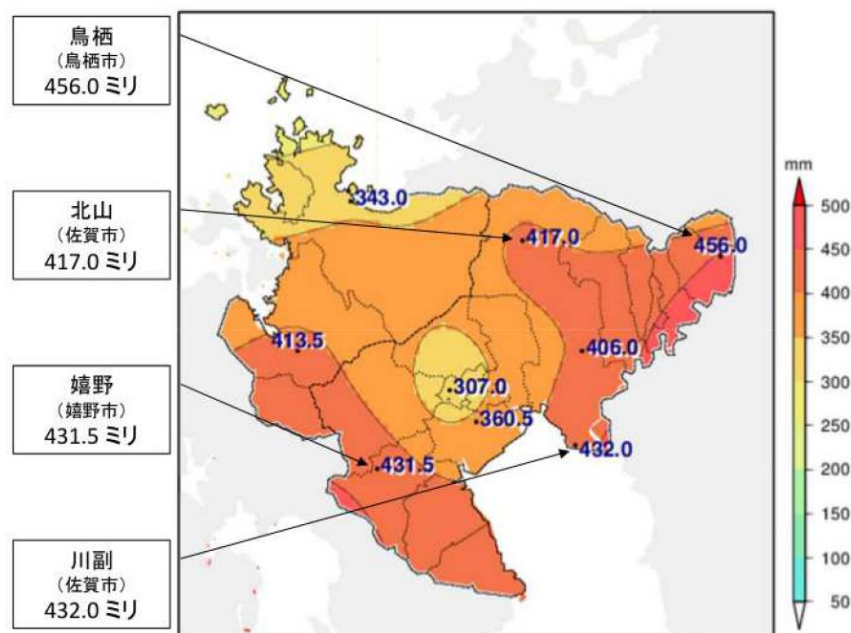
(1) 大雨の状況

7月6日から8日にかけて梅雨前線が九州付近に停滞し、太平洋高気圧の周辺から梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、九州では大気の状態が非常に不安定な状況が続いたため、広い範囲で記録的な大雨となった。

佐賀市では、7月6日の朝から夕方にかけて、局地的に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、6日16時30分に大雨特別警報が発表された。この大雨特別警報は6日22時33分に解除され、大雨警報に切り替えられた。

この一連の大雨により、「佐賀」では最も降水量の多い時間帯で1時間あたり31.5ミリ(6日13:00~14:00)が降り、12時間降水量191.5ミリ、24時間降水量283.0ミリ、48時間降水量405.5ミリを観測した。「北山」では最も降水量の多い時間帯で1時間あたり39.0ミリ(7日6:00~7:00)が降り、12時間降水量147.5ミリ、24時間降水量254.0ミリ、48時間降水量414.5ミリを観測した。特に「川副」では、最も降水量の多い時間帯で1時間あたり54.0ミリ(6日15:00~16:00)が降り、12時間降水量242.5ミリ、24時間降水量315.5ミリ、48時間降水量429.5ミリを観測し、いずれも観測史上1位の記録を更新した。「川副」の48時間降水量は、7月の月間降水量平年値(333.3ミリ)を超えた。

アメダス総降水量の分布図(7月6日01時~7月8日9時)



(2) 災害対応体制等（6月25日から7月30日）

日付	時間	特別警報等	警報	注意報	避難に関する情報	市の体制	配備者数
6月25日	03:37			大雨（土砂・浸水） 洪水、雷		災害準備体制	30人規模
	04:24		大雨（土砂・浸水）	洪水、雷		災害警戒体制（第1配備）	50人規模
	06:40	土砂災害警戒情報	大雨（土砂・浸水）	洪水、雷		災害対策室	120人規模
	08:00	土砂災害警戒情報	大雨（土砂・浸水） 洪水	雷	警戒レベル3 （避難準備・高齢者等 避難開始） 発令 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】 3,113世帯 9,008人		
	11:30	土砂災害警戒情報解除	大雨（土砂・浸水）	洪水、雷		災害警戒体制（第1配備）	50人規模
	12:00		大雨（土砂・浸水）	洪水、雷	警戒レベル3 （避難準備・高齢者等 避難開始） 解除 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】地区 3,113世帯 9,008人		
	20:00		大雨（土砂・浸水）	強風、雷	警戒レベル3 （避難準備・高齢者等 避難開始） 発令 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】 3,113世帯 9,008人		
6月26日	06:00		大雨（土砂・浸水）	強風、雷	警戒レベル3 （避難準備・高齢者等 避難開始） 解除 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】地区 3,113世帯 9,008人		
	08:04		解除	大雨		災害準備体制	30人規模
	10:50			解除		解除	
6月27日	03:20			大雨、雷		災害準備体制	30人規模
	04:29		大雨	雷		災害警戒体制（第1配備）	50人規模
	05:00		大雨	雷		災害警戒体制（第2配備）	70人規模
	18:00		大雨	洪水、雷	警戒レベル3 （避難準備・高齢者等 避難開始） 発令 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】 3,113世帯 9,008人		
6月28日	04:08		解除	大雨、洪水、雷	警戒レベル3 （避難準備・高齢者等 避難開始） 解除 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】地区 3,113世帯 9,008人	災害準備体制	30人規模
	12:30			解除		解除	
6月29日	15:31			大雨、波浪、強風、雷		災害準備体制	30人規模
6月30日	02:17		大雨	波浪、強風、雷		災害警戒体制（第1配備）	50人規模
	07:29		解除	大雨、強風		災害準備体制	30人規模
	10:53			解除		解除	

日付	時間	特別警報等	警報	注意報	避難に関する情報	市の体制	配備者数	
7月6日	05:06			大雨（土砂）、強風、雷		災害準備体制	30人規模	
	11:14		大雨（土砂・浸水）	洪水、強風、雷		災害警戒体制（第1配備）	50人規模	
	14:00		大雨（土砂・浸水） 洪水	強風、雷	警戒レベル3 （避難準備・高齢者等 避難開始） 発令 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】 3,113世帯 9,008人			
	14:35	土砂災害警戒情報	大雨（土砂・浸水） 洪水	強風、雷		災害対策室	120人規模	
	16:30	大雨特別警報 土砂災害警戒情報	大雨（土砂・浸水） 洪水	強風、雷	警戒レベル4 避難勧告 発令 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】地区 3,113世帯 9,008人	災害対策本部（第1配備）	500人規模	
	17:00	第1回災害対策本部会議						
	18:30	大雨特別警報 土砂災害警戒情報	大雨（土砂・浸水） 洪水	強風、雷	警戒レベル4 避難勧告 発令 【佐賀市全域】 101,514世帯 232,159人	災害対策本部（第1配備）	500人規模	
	22:33	大雨特別警報 解除 土砂災害警戒情報	大雨（土砂・浸水） 洪水	強風、雷		災害対策本部（第1配備）	200人規模	
7月7日	終日	土砂災害警戒情報	大雨（土砂・浸水） 洪水	強風、雷				
	15:30	第2回災害対策本部会議						
7月8日	08:10	解除	大雨（土砂）	洪水	警戒レベル4 避難勧告 解除 【佐賀市全域】 101,514世帯 232,159人	災害警戒体制（第2配備）	70人規模	
	11:17		解除	大雨（土砂）、洪水				
	15:39		大雨（土砂）	雷		災害警戒体制（第1配備）	50人規模	
7月9日	16:00		大雨（土砂・浸水）	洪水、雷、強風	警戒レベル3 （避難準備・高齢者等 避難開始） 発令 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】地区 3,113世帯 9,008人 自主避難所開放 【その他の地区】 98,401世帯 223,151人	災害警戒体制（第2配備）	70人規模	
7月10日	05:09		大雨（土砂・浸水）	洪水、雷、強風				

日付	時間	特別警報等	警報	注意報	避難に関する情報	市の体制	配備者数
7月11日	06:30		大雨（土砂・浸水）	洪水、雷	警戒レベル3 （避難準備・高齢者等 避難開始） 解除 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】 3,113世帯 9,008人	災害警戒体制（第1配備）	50人規模
	08:10		大雨（土砂・浸水）	洪水、雷	全ての指定避難所閉鎖 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】地区 3,113世帯 9,008人 避難者がいる場合は自主 避難所として 開放		
	08:30		大雨（土砂・浸水）	洪水、雷	避難者がいない自主避難 所を随時 閉鎖		
7月12日	13:03		解除	大雨、洪水		災害準備体制	30人規模
7月13日	02:25			解除		解除	
	15:40			大雨、雷、強風		災害準備体制	30人規模
	21:11		大雨（土砂・浸水）	雷、強風		災害警戒体制（第1配備）	50人規模
7月14日	13:26		解除	大雨		災害準備体制	30人規模
7月15日	04:52			解除		解除	
7月23日	16:21			大雨、雷、強風		災害準備体制	30人規模
7月24日	3:26		大雨（土砂・浸水）	洪水、雷、強風		災害警戒体制（第1配備）	50人規模
	15:46		解除	大雨、雷、強風			
7月25日	4:54			解除			
7月26日	17:23			大雨、雷		災害準備体制	30人規模
	23:45		大雨（土砂）	洪水、雷		災害警戒体制（第1配備）	50人規模
7月27日	20:30	土砂災害警戒情報	大雨（土砂・浸水） 洪水	雷		災害対策室	120人規模
	22:00	土砂災害警戒情報	大雨（土砂・浸水） 洪水	雷	警戒レベル4 避難勧告 発令 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】 3,113世帯 9,008人		
7月28日	05:00	解除	大雨（土砂）	洪水、雷	警戒レベル4 避難勧告 解除 【大和、富士、三瀬、 金立、久保泉】 3,113世帯 9,008人	災害警戒体制（第1配備）	50人規模
7月29日	10:05		解除	大雨、雷		災害準備体制	30人規模
	14:55		大雨（土砂）	洪水、雷		災害警戒体制（第1配備）	50人規模
	20:53		解除	大雨		災害準備体制	30人規模
7月30日	05:05			解除		解除	

(3) 避難者数

避難所	7月6日22:00時点		各避難所ピーク時		想定収容 人数
	世帯数	人数	世帯数	人数	
勸興公民館	1世帯	3人	1世帯	3人	22人
循誘公民館	8世帯	13人	9世帯	16人	22人
循誘小学校体育館	4世帯	9人	4世帯	9人	80人
日新公民館	2世帯	2人	3世帯	3人	35人
赤松公民館	5世帯	5人	5世帯	5人	32人
神野公民館	4世帯	7人	4世帯	7人	18人
西与賀公民館	4世帯	6人	4世帯	6人	21人
嘉瀬公民館	3世帯	5人	3世帯	5人	21人
巨勢公民館	4世帯	5人	4世帯	5人	23人
兵庫公民館	0世帯	0人	1世帯	3人	30人
高木瀬公民館	0世帯	0人	0世帯	0人	32人
北川副公民館	10世帯	16人	10世帯	16人	32人
北川副小学校体育館	0世帯	0人	1世帯	1人	80人
本庄公民館	8世帯	12人	8世帯	12人	25人
鍋島公民館	1世帯	1人	1世帯	1人	26人
金立公民館	3世帯	3人	4世帯	5人	21人
久保泉公民館	3世帯	13人	4世帯	13人	22人
小中一貫校芙蓉校体育館	5世帯	5人	6世帯	8人	80人
新栄公民館	3世帯	7人	3世帯	7人	23人
若楠公民館	6世帯	8人	7世帯	11人	22人
開成公民館	0世帯	0人	0世帯	0人	19人
諸富町公民館	14世帯	21人	14世帯	21人	123人
春日公民館	2世帯	3人	2世帯	3人	44人
春日北公民館	1世帯	2人	1世帯	2人	30人
川上校区公民館	4世帯	6人	4世帯	6人	27人
大和勤労者体育センター	1世帯	1人	1世帯	1人	90人
松梅公民館	5世帯	6人	5世帯	6人	28人
小中一貫校松梅校体育館	0世帯	0人	0世帯	0人	63人
富士支所	4世帯	7人	6世帯	12人	21人
南部コミュニティセンター	3世帯	4人	3世帯	4人	29人
北部コミュニティセンター	6世帯	8人	6世帯	8人	37人
北山東部小学校体育館	1世帯	3人	2世帯	8人	33人
三瀬保健センター	8世帯	9人	8世帯	9人	69人
南川副公民館	11世帯	16人	11世帯	16人	31人

大詫間公民館	1世帯	2人	1世帯	2人	29人
中川副公民館	1世帯	1人	1世帯	1人	31人
西川副公民館	3世帯	7人	3世帯	7人	41人
東与賀保健福祉センター	10世帯	13人	10世帯	13人	105人
久保田保健センター	4世帯	6人	5世帯	9人	68人

※ 網掛けは、感染症対策として早期開設を行った避難所

合 計 (7/6 22:00 時点) 39箇所 153世帯 235人

「想定収容人数」については、以下の方法により算出している。

- 1) 避難者同士の間隔を2メートル以上とし、通路についても幅2メートル程度を確保する。
- 2) 上記により、各施設の形状に合わせた区割りをを行う。
- 3) 区割りされた区画数を基に各避難所の想定収容人数を算出する。

(4) 避難所における感染症対策について

① 対応状況

(a) 感染症を踏まえた適切な「避難行動」の広報

佐賀市報（6月1日号、7月15日号）ほか各種媒体において、「分散避難」や「垂直避難」など、感染症を踏まえた適切な避難行動について広報を実施した。

(b) できるだけ多くの避難所の開設

災害の状況及び昨年の避難者の状況など勘案し、1次避難所だけではなく、一部の2次避難所、3次避難所の開設を行った。（5ページ 網掛け部分）

(c) 避難所での感染症予防策の実施

(ア) 避難者の健康状態の確認

受付時に検温を行うなど、避難者の健康状態の確認を行った。

(イ) 手洗い咳エチケットの徹底

避難所内にチラシを掲出するとともに、受付等に手指消毒液を配置し、手の衛生確保を行った。

(ウ) 避難所内の衛生の確保

消毒剤（洗剤を希釈したもの）を用いて避難所の消毒（拭き取り）を行った。

(エ) 十分な換気の実施

1時間に2回以上を目途として換気を実施した。

(オ) スペース及び避難者同士の距離の確保

避難所内に養生テープで区割りし、避難者同士の間隔を2メートル以上、同時に幅2メートル程度の通路の確保を行った。

② 今後の避難所運営について

(a) 継続的な広報の実施

「適切な避難行動」について、広く市民への浸透を図る必要があることから、市報をはじめとする各種媒体での広報の実施を計画する。

(b) 必要な物品の購入

(ア) 避難所受付時の密集を防ぐため、各避難所への体温計の配備数を増やすほか、職員の感染を予防するため、フェイスシールド等の配備を計画する。

(イ) 当日の天候（風雨の状況）や時間帯（夜間、就寝後）によって換気が困難な場合があることから、飛沫による感染を防ぐため間仕切り等の配備を計画する。

2 被害状況

(総務部)

(1) 人的被害及び住家の被害状況

・ 人的被害なし

・ 住家の被害状況

	全壊	半壊	浸水		土砂災害	その他	合計
			床上	床下		雨漏り	
一般住宅	0	0	0	6	2	0	8
店舗・事務所	0	0	0	3	0	0	3
その他建物	0	0	0	0	0	27	27
合計	0	0	0	9	2	27	38

(令和2年7月30日現在)

- ① 浸水（床下） 9件
 天祐2丁目 5件
 諸富町大中島地区 1件
 諸富町大中島地区 家具店舗兼工場 . 3件

- ② 土砂災害 2件
 富士町大字栗並 1件
 三瀬村藤原 1件
 (詳細は P15 参照)

- ③ 雨漏り 27件
 リサイクル工場
 エスプラッツ
 西与賀小学校体育館
 若楠小学校体育館
 諸富南小学校体育館
 東与賀文化ホール などの市有施設

② 林道・林地崩壊の災害復旧事業費の見込み

・委託費（崩土除去等）	⇒ 林道	16箇所
	事業費	17,000千円
・工事費	⇒ 林地崩壊	1箇所（※現在、精査中）
	事業費	5,000千円

林道・林地崩壊 計 17箇所 22,000千円

※予備費、12月補正で対応予定

【林道の被災状況】

林道 土穴線（被災直後）

場所：富士町大字市川



林道 雷山横断線（被災直後）

場所：富士町大字上合瀬



【林地崩壊の状況】

場所：大和町大字松瀬（被災直後）



③農作物等被害状況

・農作物被害

種類	面積	被害の状況
水 稻	0.0367ha	崩土の流入（三瀬地区、富士地区）
野 菜	0.2ha	畝上冠水（鍋島地区）
計	0.2367ha	

(3) 有明海漂着ゴミ

①漁港漂着ゴミの状況

【7月6日～ 現在】

・葦くず等 666 m³、流木 134 m³ 計 800 m³
集積済みで、搬出・処分は今後行う。

3漁港5箇所 ※ 約11,000千円

※3漁港5箇所…戸ヶ里漁港（戸ヶ里地区、三軒屋地区、早津江地区）

寺井津漁港

広江漁港

※既決予算及び予備費にて対応

（既決予算 2,000 千円、予備費 9,000 千円）

【漂着ゴミ状況写真】



戸ヶ里漁港（戸ヶ里地区）



戸ヶ里漁港（三軒屋地区）



② 漂流漂着ゴミ関係 (佐賀県有明海漁協分) 7月22日、25日

※資料提供 佐賀県有明海漁協

○集積量 1,505.5 m³ (全体 : 2,706.5 m³)

【葦等 755.5 m³ (全体 : 1,186.5 m³)、流木 750 m³ (全体 : 1,520 m³)】

○活動人数 831人 (全体 : 1,549人)

○活動隻数 124隻 (全体 : 251隻)

(4) 漁港内土砂堆積

① 漁港内土砂堆積の状況

【戸ヶ里漁港大詫間地区】

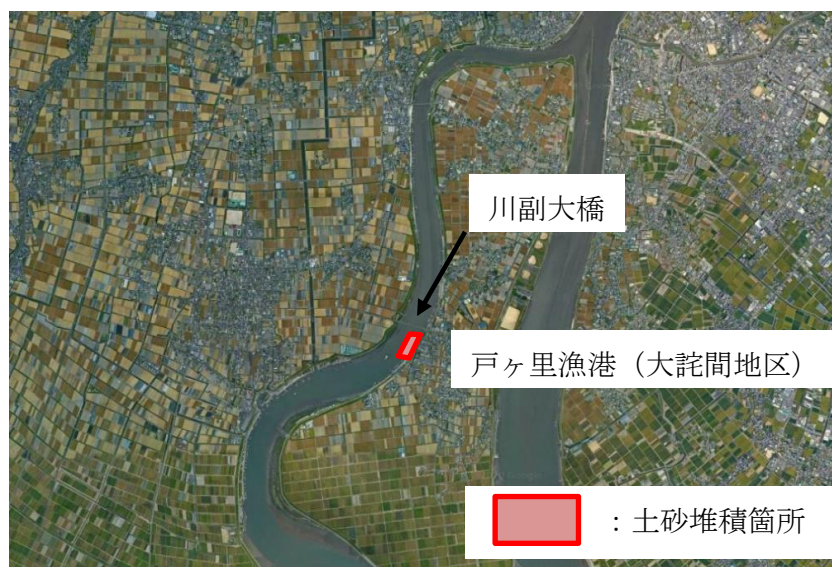
・土砂 約1,000 m³

除去費用 約2,400千円

※災害復旧事業 (予備費にて対応)

【土砂堆積状況写真】

戸ヶ里漁港 (大詫間地区)



(5) 早津江川河道土砂堆積状況

①対応状況

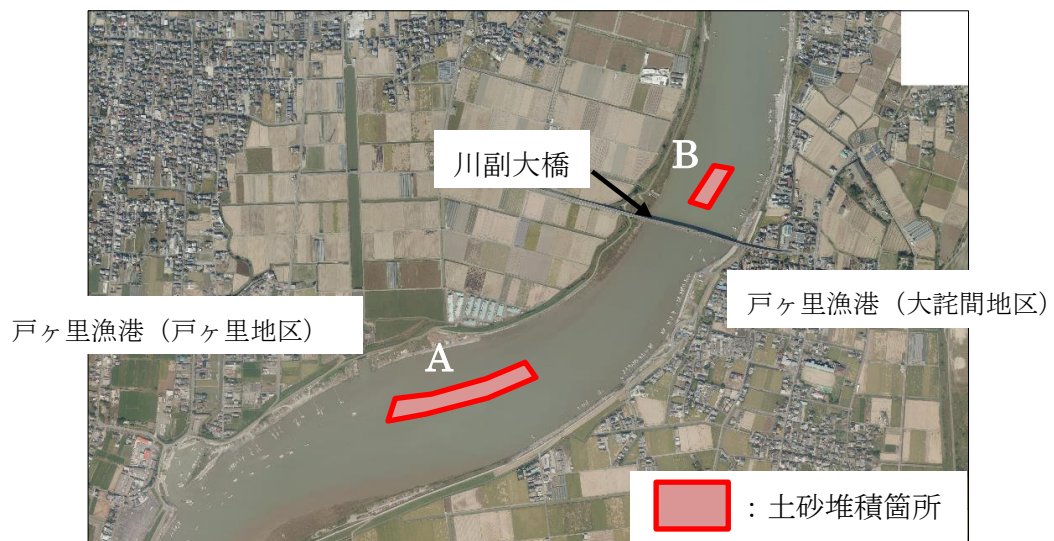
- ・現在、河川管理者である国土交通省に土砂除去を要望中

【土砂堆積状況写真】

A 戸ヶ里漁港（戸ヶ里地区）地先



B 戸ヶ里漁港（大詫間地区）地先



(建設部)

(6) 公共土木施設災害

公共土木施設（道路、河川） ※R2. 7. 31 現在 金額は概算

○工事請負費

道路	4箇所	16,200千円
河川	6箇所	42,000千円

計 10箇所 58,200千円

※12月補正予算で対応予定

○測量設計等委託料

道路、河川 一式 8,280千円

※予備費で対応予定

【被災状況写真及び位置図】

〔公共土木施設(道路)〕被災状況：路肩崩壊

◎市道広沢栗並線 場所：佐賀市富士町大字栗並



〔公共土木施設(河川)〕被災状況：護岸崩壊

◎普通河川吉原川 場所：佐賀市富士町大字市川



(建設部)

(7) 土砂災害

急傾斜地崩壊対策での災害復旧事業 ※R2. 7. 31 現在 金額は概算

○工事請負費	2箇所	12,700千円
○測量設計等委託料	一式	4,000千円

※12月補正予算で対応予定

【被災状況写真及び位置図】

〔急傾斜地崩壊対策〕被災状況：法面崩壊

場所：佐賀市富士町大字栗並



〔急傾斜地崩壊対策〕被災状況：法面崩壊

場所：佐賀市三瀬村藤原



(8) 環境関連施設被害状況

① 東よか干潟関係

○東与賀海岸（海側）

- ・ 流木、葦等のごみが大量に漂着（約1,000m³）
- ・ 7月22日（水）から佐賀県が回収を開始（8月末までの予定）

○東与賀海岸（陸側）

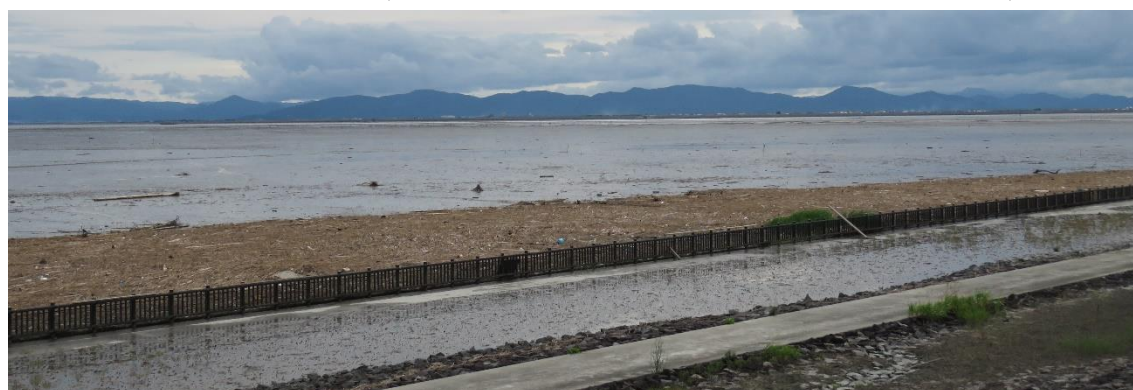
- ・ シチメンソウヤードのごみは、地元ボランティア・市職員にて随時回収



[東与賀海岸 7/22]



[シチメンソウヤード 7/22]



[東与賀海岸 7/22]

② 清掃工場関係（リサイクル工場）

○1階西側ストックヤード

- ・ 激しい雨漏りにより、回収した資源物（段ボール、雑誌、布）の大半が濡れてしまい、売却ができず、焼却処分せざるを得なかった。
- ・ 雨漏りの原因は屋根の排水機能の構造上の問題のため、改修工事経費を予算要求予定。

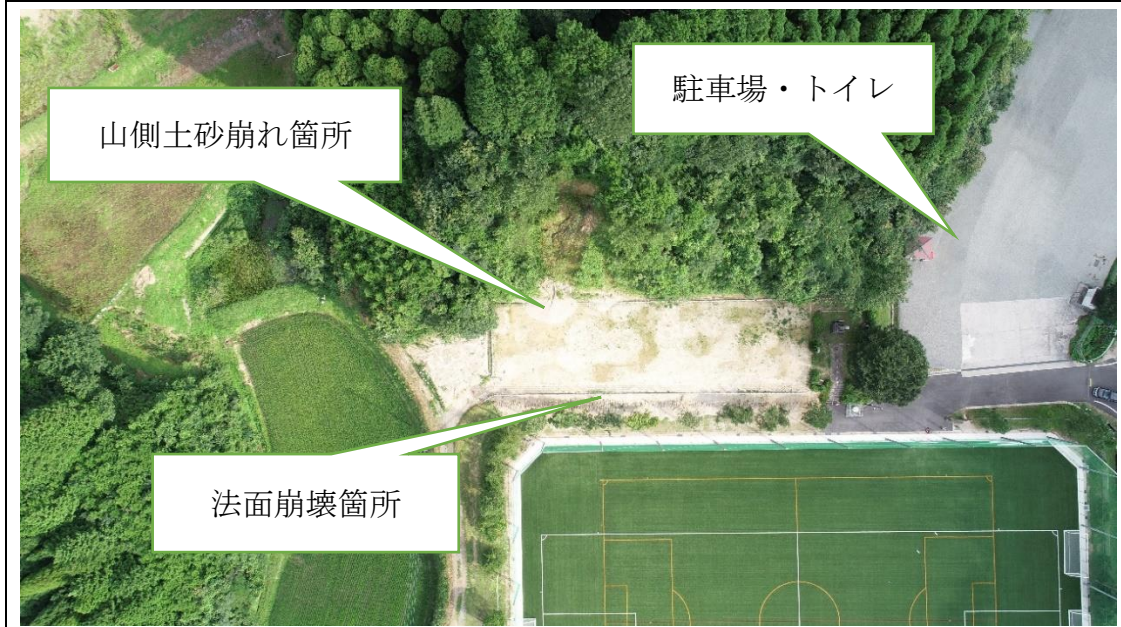
○2階ペットボトル手選別室

- ・ 20か所雨漏りしたため、ペットボトルの手選別作業を中止せざるを得なかった。
- ・ 3階壁面からの雨水侵入を防ぐための囲い（金属製の防護板）を設置済（既決予算対応）

(9) 富士山村広場

施設南側の山壁から雨水・土砂が流れ落ちたことにより、人工芝グラウンド南側観覧スペースの法面が崩壊

- ・土砂撤去等の応急措置のみ予備費で対応予定
- ・崩壊した法面復旧等は12月補正で対応予定



南側山側法面崩

グラウンド横法面崩壊 延長約 50m



(10) 嘉瀬川河川敷北グラウンド

嘉瀬川増水により水没。真砂土の流出等、グラウンドの状態が悪化
・グラウンドの状態を確認後、真砂土補充を予備費で対応予定

○7月7日11時時点（増水により水没）



○7月8日11時時点（水たまりと、全体的に小石が散見される）



○7月16日11時時点（15日の大雨により、真砂土の流出、状態の悪化など）



3 その他

(1) 災害ごみ（漂着・漂流ごみ）の受け入れ

有明海沿岸等への漂着・漂流ごみについて、市（農林水産部）漁港関連ごみは受け入れを開始している。この他、佐賀県（農林水産部及び県土整備部）からも受け入れ要請がある予定。

[漂着ごみの回収の様子]



[川副海岸 7/27]



[久保田海岸 7/22]

(2) 清掃工場における県内被災地の災害ごみの受け入れについて

佐賀県からの要請により鹿島市の災害ごみ（可燃ごみ）を受け入れる。

8/3～8/14：総量見込：550トン

(3) 環境省からの派遣要請について

環境省から熊本県芦北町の災害ごみの運搬を依頼され、環境保全課職員により、芦北町田浦仮置き場から脊振広域クリーンセンターへの運搬を行う。

[芦北町の仮置き場の様子]

